

平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

C 定型・維持管理型

No.

1002020

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	街頭ごみ・散乱ごみ対策等	所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課
		(連絡先)	213-4960
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html	(評価票作成者)	まち美化推進課長 鈴木隆志

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性	24予算額 (千円)	事務事業の内容 市民から排出される街頭ごみ、散乱ごみ、犬、猫等ペットの死体を収集する。	
199,517	230,279	現状のまま継続	230,555		
業務運営方法	☐ 直営	委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容 (委託先) (財)京都市環境事業協会 (有)関厚運輸, 阪神トラック(株) (内容) 収集運搬			
	☒ 部分委託				
	☐ 部分補助等				
	☐ 全部委託				
	☐ 全部補助等				
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例, 同規則			事務事業の性格	☒ 義務的事業 ☐ 任意的事業
				会計区分	☒ 一般会計 ☐ 特別会計

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分		H20年度決算	H21年度決算	H 2 2 年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)		227,950	194,125	199,517	230,279	230,555
		役務費 (通信運搬費等)		698	655	649	667	682
		その他		11,217	4,953	4,592	3,930	1,475
	①'	委託料	収集運搬	216,035	188,517	194,276	225,682	228,398
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)		94. 8%	97. 1%	97. 4%	98. 0%	99. 1%
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)		77,830	37,113	37,191	36,313	36,362
		職員 (課長級) (人)		0.64	0.64	0.64	0.64	0.64
		職員 (課長補佐級、係長級) (人)		1.39	0.74	0.74	0.74	0.74
		職員 (係員) (人)		5.55	2.31	2.30	2.30	2.30
		嘱託職員等人件費 (千円)		8,308	2,600	3,514	2,636	2,636
	④	年間経費 (①+③) (千円)		305,780	231,238	236,708	266,592	266,917
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)		17,880	16,744	16,610	17,650	17,429
		国庫・府支出金 (千円)						
		受益者負担分 (使用料, 手数料等) (千円)		17,880	16,744	16,610	17,650	17,429
その他 () (千円)								
⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)		287,900	214,494	220,098	248,942	249,488	
⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)		5. 8%	7. 2%	7. 0%	6. 6%	6. 5%	

平成23年度
(平成22年度分)

Ⅱ 評価結果

事業名 街頭ごみ・散乱ごみ対策等

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 効率性	No.	区 分	単位	H20年度	H21年度	H 2 2 年度	
	①	街頭ごみの収集量		t	702	724	699
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）		千円	305,780	231,238	236,708
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	435,584	319,390	338,638
	④	単位当たり経費変動率				-26.7%	+6.0%
					評価	かなり良くなった	悪くなった
分 析	(コスト変動の理由等)						
	街頭ごみの収集量が平成21年度と比較して減少したものの、年間経費が増加したことにより、単位当たり経費がかさむ結果となった。引き続き、街頭ごみ容器をできる限り長く使用できるよう、修繕や清掃をこまめに行い、ごみ容器購入の経費節減を図っていく。						
B 市民満足度	＜調査の有無＞		＜調査方法＞		＜調査時期＞		
	□ 有 ■ 無 □ 該当しない						
	(調査結果、現状分析等)						
C 環境保全 及び環境負荷軽減の要素	■ 環境	＜現状分析、今後の方針等＞					
	□ 関連 □ 一般	環境保全事業そのものであり、今後も継続していく。					

平成23年度の実施状況

京都光華女子大学と連携し、複数のピクトグラムデザインを作成。ごみ分別率調査及び市民、観光客アンケート調査を協働で実施し、市民のみならず外国人観光客にも、街頭ごみ容器での分別に協力してもらえるよう、市内全域にある街頭ごみ容器に、日本語、英語、中国語、ハングルの4箇国語入りのピクトグラム（絵文字）の貼り付けを行った。

Ⅲ 今後の方向性

現状のまま継続	(今後の方向性の理由及び具体的な内容)
	限られた予算内での街頭ごみ容器の維持、補修及び更新を図り、効率的な収集方法等を検討していく。 また、平成23年度に行った、街頭ごみ容器への日本語、英語、中国語、ハングルの4箇国語入りのピクトグラム（絵文字）の貼り付けにより、市民や外国人観光客に対し、散乱防止及び更なるごみ分別の推進を図る。